

# 行雲流水

No.273 令和4年12月19日発行

## 「小さなこと」を続ける その2

校長 寒河江 正人

天台宗の開祖、最澄は「**一隅を照らす これ即ち国宝なり**」の言葉を残したという。

「世の中に生きる私たち一人ひとりが、自分の役割を認識して、**たとえ片すみの誰も注目しないような物事であっても、自分にできることを一生懸命に取り組むことこそ尊いこと**」という意味であるという。

私たちの世の中は、「**小さなこと**」の積み上げ、**つながり**によって成り立っている。その一つひとつは、地味な「**小さなこと**」。その一つひとつは、目立たない「**小さなこと**」。

生徒諸君の日々の生活を見つめてみよう。  
毎朝の「**あいさつ活動**」に懸命に励む生徒。  
毎日、みんなを迎えてくれる「**おはようボード**」を工夫して書く生徒。  
**図書当番**をする生徒。**消毒液**や**石けん液**の**補充**をする生徒。  
教室の**チョーク**の**補充**をする生徒。**加湿器**の**水**の**補充**をする生徒。  
**教科係**の**連絡**をする生徒、などなど。まだまだ、もっともっとあるよね。  
こうして、生徒の、生徒による、生徒のための自治活動が成り立っている。

本校の教職員は、どこの学校よりも**働き者**ぞろいだ。  
誰よりも早く出勤し、春から秋は「**花の水かけや掃除**」、冬は「**暖房や除雪**」をする職員。  
**図書室の環境美化と蔵書管理**など、**給食の配膳準備と後片付け**などをていねいにする職員。  
生徒諸君が使用する**学習プリント**や**膨大な配付物の印刷**、**校内の消毒**などをする職員。  
教室の黒板にメッセージを書いて思いを伝えたり、机・イスの整理整頓をしたり、  
教室のゴミを拾ったり、掲示物のはがれを直したり。まだまだ、もっともっとあるよね。  
こうして、生徒諸君の毎日の成長・発達を懸命に支えようとしている。

誰もが、みんなのために、お互いのために、「**一隅を照らす**」役割を担っている。  
あなたも、あなたも、あなたも。そう、あなたも、あなたも。  
その一つひとつは、地味な「**小さなこと**」。目立たない「**小さなこと**」。  
でも、その一つひとつは、**かけがえのない、尊い「小さなこと」**。